

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	B 法定義務等事業	
事務事業名	特定健康診査事業				事業番号	011-277	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	健康推進課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現		
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防				
		寄与するKPI	有・無	指標名	特定健康診査受診率				
			有	現状値	27.2%(2018年度)		目標値	50.0%以上(2025年度)	
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4	
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			堺市国民健康保険第3期保健事業実施計画及び第4期特定健康診査等実施計画、さかい健康プラン					
3	事業開始年度			令和 20 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度	
4	実施根拠			高齢者の医療の確保に関する法律、堺市特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体		本庁、各区				
6	事業の対象		堺市国民健康保険被保険者の40歳～74歳			対象数	単位
						約10万	人
7	事業の目的		特定健康診査は、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする者を的確に抽出するために実施する。				
8	事業内容		・堺市国民健康保険被保険者の40歳～74歳に受診券を発行し、健診実施医療機関で次の項目を実施。 基本項目：診察（問診・身体計測・血圧測定等）、血液検査、尿検査 詳細項目（詳細検査実施基準のもと、医師の判断により実施）：心電図、眼底検査 自己負担金：無料				
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先		一般社団法人堺市医師会				
10	公民連携・協働事業		民間企業との連携による啓発チラシの配架等の実施				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	特定健康診査受診率	%		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	45.0	50.0	50.0	令和8年度中に設定
			実績値	31.0	集計中		
	達成率	69%	—				
当該指標を選定した理由		特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症や重症化を予防するため。なお、令和7年度実績については集計中。					
目標値の設定根拠・算出方法		健診受診者数/国民健康保険被保険者（40歳～74歳）					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	対象特性に合った個別勧奨通知による健診受診者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	18,600	20,000	20,000	
			実績値	10,373	集計中		
	達成率	56%	—				
当該指標を選定した理由		受診勧奨により未受診者や不定期受診者を健診受診につなげるため。なお、令和7年度実績については集計中。					
目標値の設定根拠・算出方法		勧奨対象者のうち、勧奨実施後に健診受診した人数。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		特定健康診査事業			事業番号		011-277	
-------	--	----------	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。(単位：千円)

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費 (a)	404,304	380,635	475,740	371,980	436,496
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	404,304	380,635	475,740	371,980	436,496
	市債	0	0	0	0	0
	その他 ()	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費 (b)	9,540	9,460	10,080	10,080	10,440
	15 年間経費 (c)=(a)+(b)	413,844	390,095	485,820	382,060	446,936

事業費の内訳

(単位：千円)

16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		消耗品 (枠)	R7	決算	36	0	特定健康診査委託料	R7	決算	298,499	0
			R8	予算	122	0		R8	予算	346,789	0
		印刷製本費 (枠)	R7	決算	177	0	委託料	R7	決算	66,213	0
			R8	予算	462	0		R8	予算	78,491	0
		通信運搬費 (枠)	R7	決算	177	0		R7	決算		
			R8	予算	687	0		R8	予算		
		手数料 (枠)	R7	決算	6,878	0		R7	決算		
			R8	予算	9,868	0		R8	予算		
		その他保険料 (枠)	R7	決算	0	0		R7	決算		
			R8	予算	77	0		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	① 受診者数	人	28,634	集計中
	② 上記①にかかる年間経費	千円	390,095	382,060
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	13,624	—
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18

堺市国民健康保険被保険者の40歳～74歳の特定健康診査対象者に受診案内、受診券を発送し、特定健康診査の周知を行った。
また、R3年度から未受診者等に対し、過去の受診実績等を人工知能等で解析し、ナッジ理論を活用した対象者の特性に合わせた内容の勧奨ハガキ等による効果的な受診勧奨に取り組み、受診率は向上している。
R7年度の勧奨対象者の受診状況は現在集計中であるが、通知発送後に特定健診についての問合せが増加したことから一定の勧奨効果があったと評価する。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19

ナッジ理論を活用した対象者への個別受診勧奨や、受診券に同封する受診案内を行動変容につながるナッジ理論を活用したデザインに見直したことに加え、企業との連携による健康イベント等の取組を通じた啓発により、受診率は向上している。
これらの取組により、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」及び、さかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したと考えられる。
対象者への個別受診勧奨に加え、企業との連携を含めた様々な機会を活用し、啓発・受診勧奨を今後も継続して実施する。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見

(前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載)

20

必要性	■ 高い □ 低い	特定健康診査は法定義務の健診であるため、事業の実施は必須である。 R3年度から開始した未受診者等へのナッジ理論を活用した受診勧奨の実施や、受診案内デザインの見直し、企業と連携した啓発等により、受診率はR3年度の27.8%からR6年度の31.0%へ3.2ポイント向上した。これらの取組が有効であるため、引き続き受診勧奨・啓発を実施し、更なる受診率向上をめざす。
有効性	■ 高い □ 低い	